第 14 回　探究発展 A　 SS 授業指導案（略案）

授業日：10 月第 3 週　　場所：図書館

1, 本時の目標

① 中間発表で得たアドバイスを共有する。

② 研究計画書に従って研究・調査活動を行う。

2, 本時の展開

時間	項目	生徒の活動	備考
5	導入 （図書館）	① 本時の目標を知る。(3 つ) ・中間発表で得たアドバイスを共有する。 ・仮説の検証方法を相談して決め、検証活動を実施する ② 自己評価カードに本時の目標を記入する。	 pp.29~35 STEP9
20 70 (10)	中間発表 振り返り 調査活動	① 中間発表で得たアドバイスを共有する ・外部連携指導員からの助言を聞く ・「ゼミ別中間発表会課題検討シート」(まとめ用) ・「生徒アドバイスカード」　を配布する ・外部連携指導員からの助言や生徒アドバイスカードを見ながら課題検討シートにまとめる。 ・課題検討シートは各班保管 ② 文献調査を元に仮説の検証方法を考え必要なら申請する。 ・特別な調査活動実施計画書にしっかり記入する。 ・計画書を見て実験のイメージが湧くように記入する。 ・必要な物品があればおおよその金額を調べて書く。 ③ 検証活動を実施する ・生物実験室、化学実験室、物理講義室を使用する場合は必ず「理科教室使用許可願」を提出する ・使用時間と片付けを徹底する ・継続実験、薬品使用の場合も必ず許可を取ること ・必ずアドバイザ教員に「報告・連絡・相談」	別紙 pp.29-35 STEP9
5	自己評価	自己評価カードを記入して本時の取り組みを振り返る	

3, その他

提出物：なし

連絡　：11 月初旬までで検証活動を終わらせておくことが望ましいが、クラスによって時数の差があるので、レポート提出までの時間を見ながら計画を立てること。(実施予定表を参考)

「研究レポート」「発表用資料」の提出　12 月 23 日（水）　アドバイザ教員へ

11 月 9～10 日に各クラス 2 時間でレポート作成指導を外部教員に依頼中

（島根大学中村先生）　　LHR1 時間＋国語 1 時間で実施予定（国語科には打診中）